

114 感染症の予防と体制の整備

(主担当部局：健康福祉部)

- 11401 感染症予防普及啓発の推進 (健康福祉部)
- 11402 感染症危機管理体制の整備 (健康福祉部)
- 11403 感染症対策のための相談・検査の推進 (健康福祉部)

県民の皆さんとめざす姿

県民一人ひとりが感染予防に自主的に取り組むとともに、感染症が発生した際は、地域社会全体が的確な情報に基づき、速やかに感染拡大防止対策をとることにより、社会機能が維持できています。

平成27年度末での到達目標

県民一人ひとりの感染予防に対する意識を高めるとともに、感染症の発生の兆しを早期探知できる新たな感染症情報システムが、全ての医療機関、保育所、学校等で活用されることにより、関係機関や保護者等が、地域の発生状況を監視して、発生時には速やかに感染拡大防止対策がとられています。

県民指標						
目標項目	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
感染症の集団発生事例数	/	0件	0件		0件	0件
	0件	1件			/	/
目標項目の説明と平成26年度目標値の考え方						
目標項目の説明	「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく一、二、三類感染症の県内における集団発生の事例数					
26年度目標値の考え方	一、二、三類感染症の集団感染は1件もないようにすべきであり、0件を目標値と設定しました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
		現値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
11401 感染症予防普及啓発の推進 (健康福祉部)	感染症情報システムを活用している施設の割合	/	100%	100%		100%	100%
		86.7%	95.4%			/	/
11402 感染症危機管理体制の整備 (健康福祉部)	感染症情報化コーディネーター数(累計)	/	130人	180人		230人	280人
		81人	128人			/	/
11403 感染症対策のための相談・検査の推進 (健康福祉部)	HIV抗体検査件数	/	1,025件	1,050件		1,075件	1,100件
		796件	862件			/	/

進捗状況（現状と課題）

- ・感染症情報システムについては、県内の保育所、学校等のうち95.5%（9月末現在）の施設がシステムを活用しています。県内全ての保育所、学校等が参加するよう、県・市町教育委員会等の関係機関と連携して取り組んで行く必要があります。
- ・感染症情報化コーディネーターの新規養成を行うとともに、感染症情報を効果的に活用できるようコーディネーターのスキルアップにも取り組む必要があります。
- ・マダニが媒介する日本紅斑熱が全国で最も多く発生しています。（9月末現在、29人）また、重症熱性血小板減少症候群（以下SF T S）は、発生報告はないもののウイルスを保有するマダニが生息している可能性もあり、マダニが媒介する感染症の予防について引き続き啓発を行う必要があります。
- ・平成25年4月に施行された「新型インフルエンザ等対策特別措置法」に基づき、三重県新型インフルエンザ等対策行動計画を年内に策定します。また、改定された国の抗インフルエンザウイルス薬の備蓄目標に対応していく必要があります。
- ・結核患者が早期発見や的確な治療を受けられるように、健康診断や治療費の助成を行っています。結核は集団発生すると社会的影響が大きいため、引き続き対策を推進する必要があります。
- ・早期発見が感染拡大防止に効果的であるエイズ（A I D S）等については、保健所において人権に配慮した匿名の相談・無料検査を実施しています。全国的には患者数が増加傾向にあることから、県民に対して引き続き検査の必要性を啓発していく必要があります。
- ・三重県予防接種センターにおいて、基礎疾患等を有する接種困難者へのワクチン接種や、県民の皆さんや市町等からの相談に対応しています。医療機関での予防接種事故が依然として発生しているため、医療機関での誤接種がないよう市町と連携し、事故防止に努めていく必要があります。

平成26年度の取組方向

健康福祉部

- ・感染症情報システムに県内全ての保育所・学校が参加するよう、県・市町教育委員会等の関係機関と連携して、未参加施設等に個別に訪問を実施するなどの働きかけを行い、100%の参加をめざします。
- ・感染症情報化コーディネーター養成研修やスキルアップ研修会を実施し、養成した感染症情報化コーディネーターと連携して、県民に対して感染症のわかりやすい予防方法等の情報を提供します。
- ・マダニが媒介する感染症の予防対策として、引き続き、各関係機関と連携しながら、日本紅斑熱、SF T Sの感染予防の啓発用チラシを配布するなど県民に正しい情報を提供していきます。
- ・新型インフルエンザ等行動計画に基づき、保健所や医療機関等との訓練を実施するとともに、市町行動計画の策定を支援していきます。また、国の抗インフルエンザウイルス薬備蓄方針に沿った対応をしていきます。
- ・結核対策については、早期発見・早期治療に繋がるよう、健康診断を実施するとともに、患者が適切な治療を受けられるように治療費の助成及び患者支援を行います。
- ・エイズ（A I D S）等については、引き続き、人権に配慮した相談・無料検査を実施するとともに、検査の必要性について県民に啓発を行います。
- ・予防接種については、市町が適切に事業を実施し、県民が適切に予防接種を受けられるよう、三重県予防接種センターや市町への支援を行います。また、引き続き、市町や医療機関に対して、予防接種事故をなくすための注意喚起を行います。

健康福祉部

●感染症対策基盤整備事業【基本事業名：11401 感染症予防普及啓発の推進】

予算額：(25) 8,476千円 → (26) 1,117千円

事業概要：感染症の発生およびまん延を防止するため、感染症の発生を早期に探知する感染症情報システムを活用して、得られた情報等を感染症情報化コーディネーターらが効果的に情報提供し、予防対策につなげます。

●防疫対策事業【基本事業名：11402 感染症危機管理体制の整備】

予算額：(25) 42,457千円 → (26) 187,823千円

事業概要：感染症の発生およびまん延を防止するため、感染症予防に関する普及啓発と発生時の速やかな調査・行政検査を行うとともに、入院勧告を受けた患者に対する医療費の公費負担、保健所・医療機関関係者への感染症対策に関する研修等を行います。

また、三重県新型インフルエンザ等対策行動計画等に基づき、行政備蓄用抗インフルエンザウイルス薬（リレンザ）の追加備蓄を行います。

●結核対策事業：【基本事業名：11403 感染症対策のための相談・検査の推進】

予算額：(25) 5,430千円 → (26) 4,654千円

事業概要：結核のまん延を防止するため、患者・接触者の訪問指導、行政検査、服薬指導支援などの対策を実施します。

●エイズ等対策費：【基本事業名：11403 感染症対策のための相談・検査の推進】

予算額：(25) 9,815千円 → (26) 8,600千円

事業概要：エイズのまん延を防止するため、相談・検査体制の整備、人権を尊重した啓発を行うとともに、保健所で相談・無料検査を実施します。

●（一部新）予防接種対策事業：【基本事業名：11403 感染症対策のための相談・検査の推進】

予算額：(25) 31,566千円 → (26) 46,502千円

事業概要：予防接種事業の円滑な実施と接種率の向上を図るため、市町と連携して予防接種に関する啓発等を行うとともに、予防接種による健康被害者への救済を行います。

三重県予防接種センターにおいては、接種困難事例への対処や予防接種に関する医療相談への対応を行います。

また、近年の風しんの流行を踏まえ、国と連携して、風しん抗体価検査を実施します。